

## 『航海傭船契約の当事者ではない船主は、航海傭船者が安全港を担保していることの利益を享受できる第三者となるか？』

Frescati Shipping Company, Ltd. et al v. Citgo Asphalt Refining Company, et al (The M/T "Athos I") 718F.3d 184 (3rd Cir.2013)

### 【事案】

オイルタンカー“Athos I”(以下「本船」という)は、Star Tankersが組織したタンカープール(以下「タンカープール」という)に定期傭船に出された。タンカープールは、重質原油をベネズエラからアメリカのニュージャージーにあるCITGO Asphalt Refining Company他(以下「CITGO」という)の精製所まで輸送する航海傭船契約をCITGOと締結した。本定期傭船契約および本航海傭船契約(ASBATANKVOY書式)はともに、傭船者の安全港担保義務を規定していた。

2004年11月22日、本船は、デラウェア川に面している上記精製所のバースに着棧する際に、バースから約900フィートの地点に放置されていた錨(所有者不明)に接触したため船底に破孔が生じ、26万3000ガロンの重質原油が流出した。本船船主であるFrescati Shipping(以下「Frescati」という)が被った損害は、清掃費用等で約1億8000万ドルとなり、米国油濁法(OPA90)に基づき、Frescatiの責任が制限されたため、責任制限額を超える費用は合衆国政府が管理する基金から拠出された。

本船船主(および管理会社)および合衆国政府(別訴の後に併合)は、CITGOに対し、安全港担保義務違反に基づく損害賠償を求めて訴えを提起したが、第一審であるペンシルベニア東区連邦地方裁判所は、Frescatiは航海傭船契約の当事者ではなく、CITGOが安全港を担保していることの第三受益者ではないこと、また、そもそも航海傭船者は荷揚げバースを指定したうえ、本船船長は特に異議を述べなかったのであるから、CITGOの安全港担保義務違反はない等として、Frescati等の請求を認めなかった。そこで、Frescati等は控訴した。

### 【判決】

連邦第3巡回区控訴裁判所は、以下のとおり、Frescati等の主張を認容し、本件バースが実際に非安全であったか否かを判断するために、本件をペンシルベニア東区連邦地方裁判所に差戻す判決を下した。

(1) 以下の理由からFrescati等は安全港担保義務の第三受益者にあたる。

① 荷役作業契約について第三者の受益を認めた連邦最高裁判決や再傭船契約について

第三者の受益を認めた第2巡回裁判所判決を本件にも類推できる。Frescatiは、船舶の状態について最も利害を有しているのであり、CITGOは本航海傭船契約外のFrescatiに対しても安全港担保義務を負担する意思を有しているものと解釈できる。

② 航海傭船契約上、タンカープールがCITGOから損害賠償を受けたにもかかわらず、定期傭船契約上、タンカープールがFrescatiに賠償義務を負わない等の場合、船体損傷等の損害を被ったFrescatiではなく、タンカープールが利益を得るという不都合が生じてしまう。本件では、本航海傭船契約の安全港担保義務は過失の有無を問わない保証であるが、本定期傭船契約の担保義務は注意義務である。

(2) 本航海傭船契約においてはレンジで決められていたが、到着の2週間前に荷揚げバースが指定され、本船船長が異議を述べていないことからCITGOの安全港担保義務が免責されるか否かの点についてであるが、当事者がバースの危険性を認識しておらず、予見可能性もない場合には、CITGOは免責されない。

### 【コメント】

本判決は、契約外の当事者が契約上の義務違反に基づく損害賠償請求を認めるものであり、“Time Charters”第7版においても取りあげられている判決例である(同書236頁)。米国では、契約外の当事者に対して一定程度契約の効力を及ぼすことを認める判決例が見受けられるが、日本法の場合、法令等で定めがない限り、契約外の第三者に契約の効力を及ぼすことは認められず、不法行為で処理されるものと思われる。

また、Frescatiは、タンカープールに対しては、定期傭船契約に基づく損害賠償を求めてロンドンで仲裁を申立てているが、本訴訟の結論が出るまで手続きの進行は停止されている。本判決では、不法行為に基づく損害賠償も請求されているが、過失の有無等の判断についてもペンシルベニア東区連邦地方裁判所に差し戻しとなっている。

なお、CITGOの本判決に対する上告は棄却され、ペンシルベニア東区連邦地方裁判所での審理が継続しているようである。 ■